

広報

えびの

4

広報えびの4月号
2010 April
No.522
平成22年4月20日発行

私たちの仕事

【特集】福祉作業所の活動を追う



広報えびのはホームページでもご覧になれます。
<http://www.city.ebino.lg.jp/>



今年の9月で開設10周年を迎える
特定非営利活動法人えびの福祉作業所。
今号では、えびの福祉作業所の活動を追ってみました。

焼き上がった陶器を磨く利用者。お客さんが陶器の角でけがをしないよう、熱心に角を丸く磨きます。

【特集】福祉作業所の活動を追う

私たちの仕事

えびの福祉作業所とは

「特定非営利活動法人えびの福祉作業所（以下作業所）」は、平成12年9月に開設され、今年の9月で、ちょうど10周年を迎えます。現在は、旧大明司保育所跡を作業所として活動を行っています。

作業所設立の目的は、知的障害者が働く喜びを感じ、互いに助け合う協調性や社会の一員としての自覚を持つことで、希望を持って前向きに生活できるようにするということです。また、障害者に対する正しい理解が得られるよう、地域社会に働きかけるこ

とも大きな目的の一つです。作業所では、次のような努力目標を掲げて、日々の活動を行っています。

◎明るい作業所・・・まず楽しい作業所であること。明日への希望を持った健康的ないきいきとした明るい雰囲気づくりに努める。

◎助け合う作業所・・・一人一人の人格を尊重し、障害の個人差を理解し、お互いに助け合う気風を育てる。

◎がんばる作業所・・・勤労の尊さや働く喜びを知り、進んで働く意欲を育て、活気のある作業所づくりに努める。

作業所には、現在16人の利用者が通っています。利用者の皆さんは、職員やボランティアの皆さんなどとともに、陶器や野菜、花作りなどに毎日汗を流しています。また、委託作業も行い、作業所の運営資金にあてています。

楽ではない作業所の運営

現在、委託を受けて行っている仕事がストックキングの袋詰め作業です。現在の委託作業はこれのみで、以前と比べて仕事が少ないなってきたいます。委託作業が減るということは、定期的な収入も減るとのこと。作業所の運営は決して楽なものではありません。

このため、収入を確保するため、新たな事業の展開を模索するとともに、作業所を広く知ってもらう必要があります。現在は、作業所を広く知ってもらうために、産業文化祭などのイベントで、作業所で作った陶器や花、野菜などを販売したり、イベントで太鼓を演奏したりして、作業所を広くPRしています。

作業所の鬼脇千代子所長は、「活動の場をさらに広げて、広く皆さんに知ってもらう必要があります。皆さんにより親しんでもらうことで、新たな事業展開が見えてくるかもしれない」と話します。

働くことの喜び

取材で作業所に足を運ぶと、利用者の皆さんはいつも

元気な声であいさつをしてくれました。取材も終盤になると「いらっしやいお兄ちゃん、今日はどんな写真を撮りにきたの。何時までいるの」と、やさしく笑顔で出迎えてくれました。

一方、作業に打ち込む利用者の皆さんの表情は真剣そのもの。陶器磨きや草むしり、委託作業など、作業所では利用者の皆さんにとってさまざまな仕事がありますが、皆さん黙々と作業に打ち込みます。鬼脇所長は、「仕事については、職員がいなくても時間になったらしっかりと取り組むようになりました。また、あいさつもすっかりできるようになりましたね」と話します。

休憩中などは、利用者同士や職員と会話が弾む皆さん。そこで見える皆さんの笑顔は本当に素敵でした。作業所で仕事ができるという喜び、作業所に来ることの楽しさが、その笑顔からうかがえます。

素敵な笑顔の利用者の皆さん。では皆さんの仕事はどんなものがあるのでしょうか。次ページでは、皆さんの仕事や表情、ボランティアの皆さんとの交流を紹介します。



作業所の一日は、利用者、職員全員で行うそうじから始まります。



私たちの仕事

作業所では、どんな仕事があるのでしょうか。
ここでは、利用者の皆さんの仕事や表情、
ボランティアの皆さんとの交流を紹介します。

作業所での仕事

前述したとおり、作業所ではさまざまな仕事があります。現在受けている委託作業では、ストッキングをきれいにたたんで、専用の袋に入れ、シールで封をするという仕事。ストッキングはちよっとしたこと、ほつれたり、破れたりするので、利用者の皆さんは、細心の注意を払って作業にあたります。また職員の皆さんは、同じ作業を一緒にしながら、しっかりとできていくかチェックします。

陶芸担当は、徳持和浩さん。徳持さんが作る陶器は、カップや皿、一輪さしなど種類も豊富。磨く作業はみんなで行います。

ります。

そのほかにも、花の苗を育てたり、畑で野菜を育てたりしています。作業所の中や庭のそうじも大切な仕事の一つです。

ボランティアの支え

作業所にとって、ボランティアの皆さんとの交流は、今では欠くことはできません。毎月行うボランティアひまわりの皆さんとの料理、会食、えびの朗読会の皆さんによる読み聞かせ、そして一般ボランティアの方との交流は、利用者や職員の皆さんにとって心強い支えです。

先日は、NEXCOグループの皆さんが、ボランティアで作業所の庭木のせん定を行いました。

月1回など、定期的に作業所を訪れるボランティアの皆さんは、利用者からの信頼も厚く、いろんな話題で会話が弾みます。

では、ボランティアで作業所を訪れる皆さんや利用者、利用者の保護者や職員の皆さんは、作業所に対してどのような思いがあるのでしょうか。お話を伺ってみました。



作業所の陶芸家である徳持和浩さん。細かい作業も集中してこなします。



ボランティアひまわりの方と一緒に料理。やさしく教えていました。



作業所の庭にあるハウスでは、花などが育てられています。



重留さんの作る陶芸は種類も豊富。中には田の神さあの姿も。



5月に行われる福祉の祭典で太鼓演奏を披露するため、練習に熱が入ります。



利用者に絵本を読み聞かせるえびの朗読会の紫雲宣子さん（右）。



えびの朗読会の皆さんが準備してくれた野菜の人形に築地さんもっこり。

委託作業のストッキングの袋詰め。ストッキングをたたんで袋に入れる人、袋にシールをはって封をする人と、作業を分担して行っています。

作業所への思い

福祉作業所は、ボランティアなど多くの人に支えられています。作業所職員や利用者、保護者やボランティアの皆さんに、福祉作業所への思いを伺ってみました。



嶋田昭宏さん
[福祉作業所職員]

作業所の副所長兼職業指導員をしています。その日の仕事の手順や内容を利用者に教えていますが、まずは、利用者がけがをしないように、無理をしないように気をつけています。利用者の皆さんは、その日の体調にもよりますが、一つ一つの仕事を、とても熱心に取り組んでくれています。まだ作業所を知らない方がたくさんいると思うので、皆さんにもぜひ来ていただきたいですね。



紫雲宣子さん・富田和美さん
[えびの朗読会]

月1回、作業所で読み聞かせや言葉遊びなど、お互いにふれ合えるようなものを行っています。「楽しんでほしい、ほっとする時間を作りたい」というのが私たちの思いです。年齢の幅や障害の程度などにはありますが、特に基準は設けず、色々な種類の本や紙芝居などを読み聞かせています。私たちが行くといつも歓迎してくれます。これからも続けて、利用者との交流をさらに深めたいですね。



別所糸美さん
[福祉作業所利用者の保護者]

自閉的知的障害を持つ娘が作業所に通っています。作業所に通うようになり、娘も落ち着いてきたと感じています。仕事も一生懸命取り組むようになりました。しかし、作業所で受ける仕事が少ないようなので、仕事を増やしてもらい、娘を含めて、利用者の皆さんにたくさんの仕事をさせてあげたいですね。私も親として、行事に積極的に参加するなど、できる限りの協力をしていきたいです。



築地正範さん
[福祉作業所利用者]

作業所での仕事はとても楽しいです。毎日作業所に通うのが楽しみです。私には、草をむいたり陶器を磨いたり、皆さんの仕事があります。中でも私はクワを使った仕事が好きです。作業所で野菜なども作っていますが、立派な野菜ができるのもうれしいです。毎日、その日の仕事を一生懸命やって、気持ちいい汗をかいています。みんなで食べる昼食はとてもおいしくて最高ですね。



木原ヒデ子さん
[ボランティアひまわり]

ボランティアひまわりでは、月1回、福祉作業所で料理をして、利用者の皆さんと食事を楽しんでいます。これは、作業所開設当時から行っているものです。生活訓練の一つとして、利用者の方にも料理に参加してもらっています。利用者の方から「また来てね」と言ってもらえると、とてもうれしいですし、やりがいを感じます。私たちも利用者の皆さんから元気をもらっているところです。

気をもらい、お互いに支え合っているのです。

保護者の思い

作業所に自閉的知的障害を持つ娘を通して別所糸美さん。娘が作業所にも慣れ、毎日楽しく通うのを見てほっとしているそうです。しかし、「娘にいろんな仕事をさせてあげたい」という思いがある一方、作業所で受ける仕事は少なくなっています。「中には、子どもに障害があることを知られたくない親、隠す親もいらつしやると思いますが、でも私は、逆に皆さんに知ってもらいたいと思います。隠すようなことはしません。知ってもらった方が、皆さんの協力もいただける可能性がありますからね」と話す別所さん。作業所を多くの人に知ってもらうことで、作業所で受ける仕事が増えることを期待しています。

作業所で職業指導員を務める嶋田昭宏さんも、「作業所を知らない方も多いと思います。ぜひ皆さんに作業所に来ていただき、利用者の方とふれあい、作業所の実態を見てほしいですね」と話します。

お互いに支え合う

今回話を伺ったのは、作業所で働く職員や利用者、そしてボランティアで作業所を支える方々です。

作業所は、多くの方々に支えられて運営されています。その支える人たちが作業所を訪れると、利用者の皆さんは元気な声であいさつし、笑顔で出迎えます。また、訪れる皆さんも、歓迎されていると肌で感じ、笑顔で利用者の皆さんと接します。毎月利用者の皆さんと料理、会食を通じて交流を深めている「ボランティアひまわり」の皆さんは、「私たちも月1回だけ作業所に来るのを楽しみにしています。みんな笑顔が素敵で、私たちも元気をもらっています」と話します。

これまで、ボランティアの皆さんへも取材してきましたが、そこで感じたことは「何かをしてあげている」という印象はまったくなかったということ。利用者や職員の皆さんにとっては、ボランティアの皆さんに支えてもらっているという思いがあるかもしれません。しかし、ボランティアの皆さんも、利用者から元

【特集】
私たちの仕事

i n t e r v i e w



障害者の方の
自立した生活を応援します

えびの市福祉事務所福祉係
田中涼子 さん

市では、障害者の方が地域で自立した生活が送れるように、介護給付や訓練等給付、医療費助成や補装具費の支給などのサービスを提供しています。障害者自立支援法は平成18年度に施行されましたが、平成22年4月1日に改正され、低所得の方については、利用者負担が軽減され、さらにサービスを利用しやすくなりました。事業によっては、利用できない方もいらっしゃいますので、利用する前に必ずご相談ください。そのほか、障害者の方の相談にも応じています。何かお困りの際や、サービスで疑問に思うことなどがありましたら、えびの市福祉事務所福祉係（☎0984-35-1111 内線261・266）まで、お気軽にご相談ください。



「えびの市ひかり家族会」に
入りませんか

えびの市ひかり家族会は、精神障害者とその家族相互の交流を図り、当事者の自立を支援するために活動を行っています。精神障害者の家族が集い、普段話せない悩みなどを語り合うことで、家族の皆さんは勇気づけられています。同会では会員を募集しています。精神障害者の家族の方、皆さんと一緒に語り合ってみませんか。詳しいことは市健康保険課市民健康係までお問い合わせください（☎0984-35-1111）。



福祉作業所の利用者と職員の皆さん。

えびの市の取組み

障害者福祉や高齢者福祉など、現在の福祉は、地域の役割が重要視されています。地域で支え合っていくことが必要なのです。市としても、障害者の方が、住み慣れた地域で自立した生活ができ、また、社会参加ができるよう、地域の見守り体制や個々に応じた適切な障害福祉サービスなどに取り組んでいきます。

また、今年度は新規事業として、日常生活に必要な便宜を図ることにより、地域での生活を支援する「障害福祉ホーム事業」を実施します。

人と人のつながりを

皆さんは、障害者にどんなイメージを持っていますか。

取材を通して、利用者の皆さんとたくさん話す機会がありました。皆さんとふれあうことで、こちらの心が豊かになるように感じました。皆さんは、楽しい時には笑い、憤りを感じる時には怒る、表情が豊かです。そして、得意な仕事、苦手な仕事もあります。皆さんにも、得意なこと、苦手なこととありませんか。

人と人のつながりが重要視されている現在、障害者にとっても、人と人のつながりは欠かせません。作業所の職員の皆さんは、多くの方に利用者とのつながりを持ってほしいと話します。実際に利用者と接し、利用者の個性、感情を知ること、障害者に対するイメージが変わってくるからです。

市民の皆さんも、ぜひ、利用者の方々と接し、作業所を知ってみてください。それが障害者自立支援の第一歩ではないでしょうか。

えびの福祉作業所では、利用者を募集しています。詳しいことは、えびの福祉作業所（☎0984-33-2245）までお問い合わせください。

施政方針



3月定例会で施政方針演説を行う村岡市長。

3月定例会の開会初日、村岡隆明えびの市長は、平成22年度の重要施策などをまとめた施政方針を述べました。ここで、施政方針の内容（一部抜粋・要約）をお知らせします。

いた改革を進めます。

4月1日の職員数は304人で、行政改革の目標数値にほぼ近づきましたが、一方で業務量は年々増えつつあります。第五次行政改革大綱を策定し、平成23年度に向けた組織機構の見直しや平成21年度から導入した外部評価による事務事業見直しの充実を図ります。また、職員の意識改革と不祥事の再発防止の観点から、人事評価制度導入に向けた取組み、服務・倫理規定等の見直し、公益通報者保護制度や政治倫理条例の制定に向けた取組みを進めます。基地対策では4月から企画課内に基地対策室を設置し、組織強化を行います。

■市民参画・市民協働

自治基本条例の策定により、行政と市民が協働したまちづくりが一層進むものと期待しています。

行政においては、これまで以上に情報を公開し、また、行政運営にも多くの市民に参加していただけるような体制づくりを進めます。その一つとして、予算関係では平成21年度に実施した「当初予算の主な事業の公表」に加え、市民向けに内容を編集した「わかりやすい予算書」を作成します。また、多くのご意見をいただきました。ありがとうございます。

なお、今年度は市制施行40周年ですので、市民にも積極的に参加していただき、さまざまな記念事業に取り組みを進めたいと考えています。

■産業振興

農業振興は、付加価値の高い特産品の開発、畜産の振興等による農家所得の向上を図るため、市、JA、県が一体となり総合的にえびの市の農業振興を進める体制づくりを行います。

■行財政改革

本年度を意識改革元年と位置づけ、「変革と挑戦！市民一丸で未来を開拓」を基本理念とし、「市民との協働のまちづくり」に向け、職員とともに汗を流しながら取り組んでいく所存です。

今後さらなる自主財源の確保、歳出の抑制にも努めなければなりません。このため、新年度では第三次財政改革推進計画を策定し、これに基づ

物産館は、道の駅も併設し、国の補助事業等を取り入れて、建設に向けた取組みを進めます。併せて、「ふるさとづくり戦略会議」の4つの部会により特産品の開発、基本構想・基本計画等の策定や魅力ある農産物生産等の検討を行います。

畜産振興は、畜産種ごとに制度化された価格安定対策に対し、農家負担を支援し経営安定を図ります。また、優良牛の保留、導入による家畜改良を推進します。

企業誘致は、取組体制を強化するため観光商工課内に企業誘致戦略本部を置き、今後さらに積極的な情報収集や企業訪問等を行い、新たな企業の発掘に努めます。

観光振興は、えびの市観光振興計画に基づき、本市の優れた観光資源を有効に活用し、誘客や交流人口の増大を図ります。また、京町温泉活性化を目的とした官民協働による行動計画を策定します。

■学校教育・社会教育

学校教育では、個に応じた指導やきめ細やかな指導を行い、さらに小中一貫教育を推進するため、全小学校高学年

の算数科および全中学校の数学科ならびに英語科に市独自の講師を配置します。

社会教育では、子育て教育の一貫としての親育て講座の開設や、次世代を担う若者を支援するための若者チャレンジプロジェクト会議の結成に取り組みます。

■子育て支援

乳幼児対策として、各種の出産・育児・健康相談事業等を実施し、心身両面でサポートします。また、子育てに悩みのある保護者が気軽に相談できるよう、「子育て応援電話相談所」を開設します。さらに、育児に関する相互援助活動事業として、子どもを預けたい人と預かりたい人で組織する「ファミリーサポートセンター」の開設に向けた体制づくりを行っていきます。

経済的支援として、新年度からはじまる国の事業である子ども手当に加えて、子どもの医療費および妊婦健康診査費の助成を拡充します。

■市民生活・生活環境

総合的な防災対策やごみ処理、生活排水対策、水質保全などの生活環境対策に取り組

み、快適な生活環境づくりを目指します。

防災対策は、火災、風水害、地震などの災害時に、必要な情報が迅速かつ的確に伝わるよう、防災行政無線放送施設のデジタル化を進めます。

■都市基盤

市道のうち、えびの中央線は、社会資本整備総合交付金事業で早期完成に向けて取り組みます。また、上島内岡元線外1線は、防衛事業により取り組みます。

河川関係は、池島大橋下流の「水辺の楽校」の関連事業として、トイレ・給水施設等を整備します。

市営住宅は、新たに取得した定住促進住宅の有効活用を図ります。また、永山第2団地の外壁落下防止等の改修工事を行います。

水道事業は、企業債の償還元金の減少に伴い、水道料金の減額改定を行いますので、料金の減収が見込まれますが、より一層事務事業の効率化、サービスの向上を図り、安定的な経営に努めます。

今年度も市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

矢岳高原から望むえびの市と霧島連山。

■一般会計歳出（目的別）

単位：千円

科目	22年度 当初予算額	21年度 当初予算額	増減率
議会費	135,785	138,152	-1.7%
総務費	1,605,245	1,362,855	17.8%
民生費	3,441,987	3,167,517	8.7%
衛生費	864,544	798,138	8.3%
労働費	11,626	11,413	1.9%
農林水産業費	748,011	594,750	25.8%
商工費	236,707	254,776	-7.1%
土木費	476,368	689,750	-30.9%
消防費	322,087	315,618	2.0%
教育費	672,856	910,515	-26.1%
災害復旧費	107,955	121,377	-11.1%
公債費	1,159,675	1,323,123	-12.4%
予備費	32,154	32,016	0.4%
合計	9,815,000	9,720,000	1.0%

■市民一人あたりの予算額

1人あたり 436,941円



1世帯あたり 972,553円

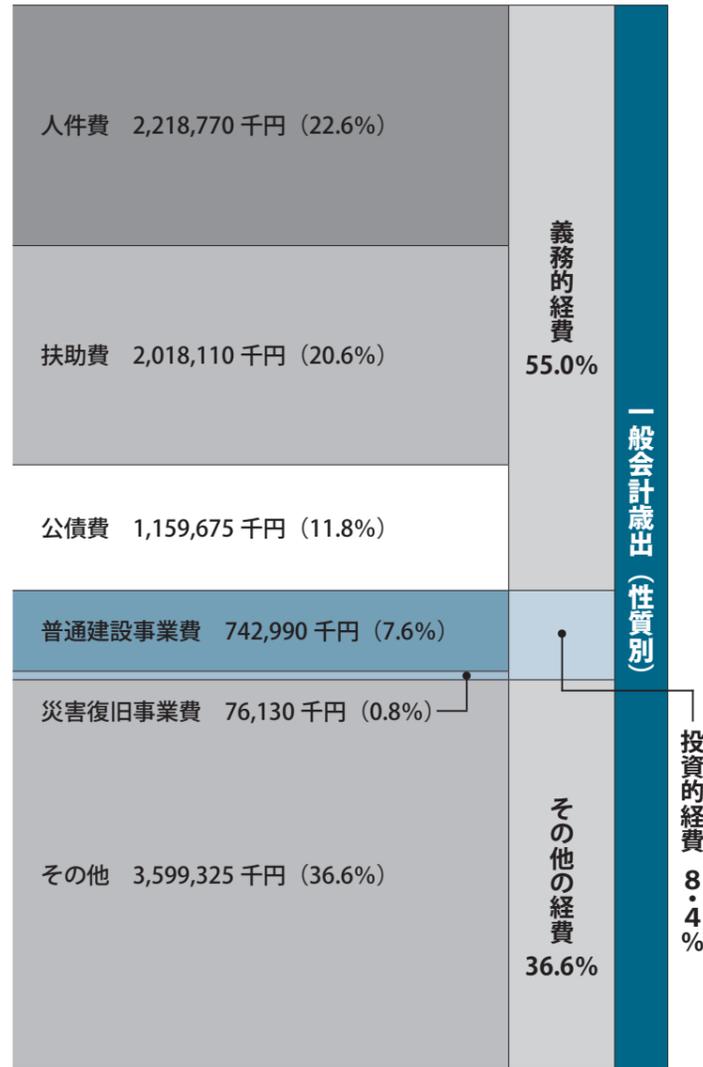
※3月31日現在、住民基本台帳人口で算出。

■会計別予算の状況

単位：千円

会計	22年度	21年度	増減率
国民健康保険特別会計	3,696,249	3,541,880	4.4%
後期高齢者医療特別会計	567,141	516,506	9.8%
老人保健特別会計	568	36,200	-98.4%
介護保健特別会計	2,667,384	2,652,165	0.6%
観光特別会計	32,962	41,480	-20.5%
水道事業会計	327,809	329,004	-0.4%
病院事業会計	1,016,271	982,477	3.4%

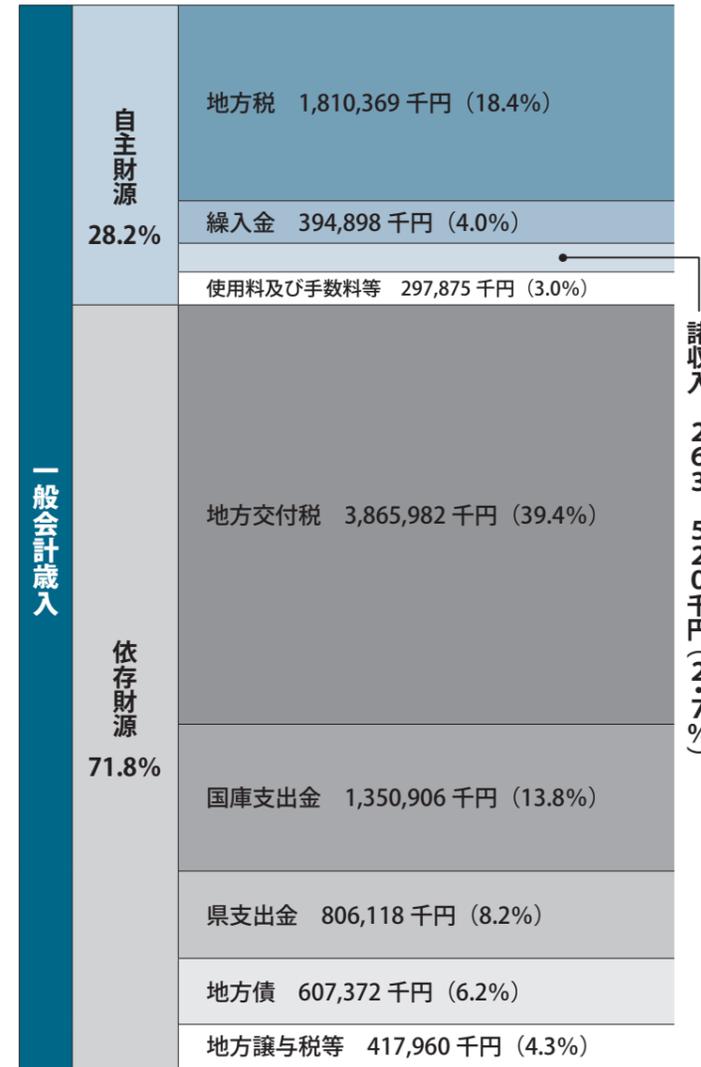
※水道、病院事業の予算は収益的支出の額です。



とって安心して住めるまちとして必要と判断した事業等は、一層の重点的な予算計上に努めました。

自主自立に向けて、自主財源の確保は極めて重要となつてきています。市税の課税にあたっては、適正・公正な課税を行うことはもちろん、負担が公平となるように、これまで以上に滞納対策の充実を図り、収納率の向上に努めます。また、市有財産の適正管理と有効活用を図り、自主財源のさらなる確保に努めます。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



諸収入 263,520千円(2.7%)

平成22年度は、依然として厳しい財政運営の中、財政健全化に向けた取組みを継続しながら、さらなる市の活性化と市民の安心・安全の確保のために、なお一層の財源の重点的、効率的な配分に努めました。また、市民の皆さんの予算編成への参画を図るために、平成22年度当初予算要求における「主な事業」を公開し意見を募集しました。市民の皆さんから寄せられた意見を踏まえた上で予算編成を行ったところです。

経済対策や市民の皆さんに

一般会計歳入歳出総額は98億1,500万円

平成22年度 当初予算

さらなる市の活性化と市民の安心・安全の確保のために

財政健全化を進めながら重点的・効率的に配分

平成22年度の主な事業

- わかりやすい予算書（85万1千円）▽当初予算の中で市民生活に直結した施策を中心に、市民向けのわかりやすい内容に編集した予算書を配布します。
- 基地対策嘱託員（340万2千円）▽駐屯地の存続・増強の要望活動や防衛関連事業の取組みを強化するため、基地対策室を設置することに伴い、体制強化を図ります。
- 市制施行40周年記念事業（463万3千円）▽市制施行40周年にあたり、記念式典等を実施します。その他、既存事業を充実・拡大することにより、記念事業として位置づけ、実施します。
- 子ども医療費助成事業（5,664万円）▽平成22年度から小学生までの入院費の無料化および新たに入院外における小学生の負担を軽減するため、月800円を超える医療費に対して

■若者チャレンジプロジェクト会議（17万7千円）▽市民で構成する「若者チャレンジプロジェクト会議」を結成し、地域活性化のためのイベント等の企画立案等を通じて、次世代を担う若者を支援します。

■一貫教育推進事業（1,871万2千円）▽全小学校高学年の算数科および中学校の数学科並びに英語科に市独自の講師を配置します。

■肉用牛肥育経営緊急支援対策事業補助金（807万円）▽肉用牛肥育経営安定対策事業による家族労働費の補てんを受けるものの、事業における農家負担が大きな経営負担になっていることから、農家負担の一部を助成し、農家経営の安定を図ります。

助成を行います。

■子ども医療費助成事業（5,664万円）▽平成22年度から小学生までの入院費の無料化および新たに入院外における小学生の負担を軽減するため、月800円を超える医療費に対して

■お問い合わせ先
市財政課財政係
0984-351111
(内線381382)

市の組織体制

写真下の文／市長・副市長・教育長は今後の決意を、各課・事務局長は主な業務を掲載。

 <p>社会教育課長 上 加 世 田 たず子</p> <p>公民館活動、生涯教育、文化・芸術振興、文化財保存、生涯スポーツ振興、体育施設管理など</p>	 <p>選挙管理委員会事務局長 藤 嶋 勉</p> <p>選挙事務、直接請求、裁判員候補者予定者名簿調製、検察審査員候補者名簿調製など</p>	 <p>畜産農林課長 吉 留 伸 也</p> <p>農業振興、畜産振興、市有林管理、新規就農者・担い手育成、畑地かんがい排水事業、土地改良事業など</p>	 <p>健康保険課長 竹 下 京 一</p> <p>国民健康保険および後期高齢者医療の資格・給付、成人保健、母子保健、感染症予防など</p>
 <p>学校給食センター所長 下 原 龍 一</p> <p>学校給食に関すること</p>	 <p>監査委員事務局長 木 村 政 一</p> <p>監査事務に関すること</p>	 <p>建設課長 山 下 寿 男</p> <p>道路の認定・廃止、河川・砂防・市道・林道・土木施設の維持管理、災害復旧、用排水路の補修、農地保全など</p>	 <p>長寿介護課長 坂 本 健 一 郎</p> <p>高齢者の援護、福祉タクシー、介護保険の認定・給付、介護予防、地域支援事業など</p>
 <p>水道課長 園 田 毅</p> <p>水道事業会計事務、水道用水の供給、水道施設の維持管理など</p>	 <p>農業委員会事務局長 菅 田 正 博</p> <p>農地の売買・転用、農業委員会事務、農業者年金など</p>	 <p>福祉事務所長 徳 重 順 子</p> <p>地域福祉、障害者の援護、ボランティア、生活保護、児童・母子・父子寡婦の援護、保育園など</p>	 <p>環境業務課長 平 野 浩 二</p> <p>廃棄物の収集・運搬・処理・軽量化・資源化、廃棄物処理事業の許可など</p>
 <p>市立病院事務長 松 永 康 二</p> <p>病院事業会計事務、外科、内科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科</p>	 <p>学校教育課長 杉 元 真 一</p> <p>教育委員会、学校予算、教育行政相談、児童生徒の就学・安全管理、奨学金に関することなど</p>	 <p>議会事務局長 泊 秀 智</p> <p>議会事務に関すること</p>	 <p>観光商工課長 坂 本 謙 太 郎</p> <p>観光振興、商工業振興、中小企業対策、雇用・労働対策、企業誘致、地場産業振興など</p>

 <p>税務課長 堀 川 純 一</p> <p>市税の賦課・徴収、税証明、固定資産の評価、地籍調査など</p>	 <p>総務課長 上 加 世 田 章 人</p> <p>条例・規則、区長会、消防、防災、交通安全、防犯、危機管理、人権、職員管理など</p>	 <p>市長 村 岡 隆 明</p> <p>「市制施行 40 周年を迎える本年度を意義ある通過点として歴史に刻んでまいります。市民の皆さんのご協力をよろしく願います」</p>
 <p>市民課長 木 村 哲 也</p> <p>戸籍、住民登録、印鑑登録、国民年金、行政相談、消費生活、環境保全、市営墓地、畜犬登録など</p>	 <p>企画課長 野 間 教 昭</p> <p>秘書、総合計画、自衛隊、各種統計、地域振興、国際交流、男女共同参画、情報処理、広報・広聴など</p>	 <p>副市長 椎 重 明</p> <p>「一日も早くえびのに慣れ、皆さんのお役に立ちたいと思います」</p>
 <p>飯野出張所長 上 園 勝 夫</p> <p>戸籍、住民登録、印鑑登録、埋火葬・改葬など飯野地区の行政事務に関することなど</p>	 <p>財政課長 馬 越 脇 浩</p> <p>予算編成、交付税、市債、行・財政改革、財政分析など</p>	 <p>教育長 萩 原 和 範</p> <p>「家庭、地域、学校が一体となった教育に情熱を持って取り組んでいきたいと思っています」</p>
 <p>真幸出張所長 上 野 修 一 郎</p> <p>戸籍、住民登録、印鑑登録、埋火葬・改葬など真幸地区の行政事務に関することなど</p>	 <p>財産管理課長 白 坂 良 二</p> <p>入札、市有財産の取得・管理・処分、市有建築物の建設、住宅新築資金、市営住宅の管理、庁舎管理など</p>	 <p>会計管理者兼会計課長 向 原 雄 二</p> <p>公金の出納など</p>

新規採用職員を紹介します

平成 22 年 4 月 1 日付けで、次の 3 人がえびの市役所の職員として採用されました。新規採用職員の、今後の抱負や意気込みを紹介します。



(建築技師)

財産管理課
美 坂 茂 樹

市民の皆さんに対して、さわやかに対応できる職員になりたいと思います。えびの市のために一生懸命がんばります。



(看護師)

市立病院
竹 中 め ぐ み

患者さんの声にしっかりと耳をかたむけて、細かいところまで気をくばり、皆さんから信頼される看護師を目指します。



(看護師)

市立病院
福 留 ま ゆ み

市民の皆さんの健康維持、健康増進と、患者さんの 1 日でも早い健康の回復のために、がんばっていききたいと思います。

椎重明副市長の紹介

平成 22 年 3 月議会で、椎重明副市長が承認されました。4 月 1 日に市役所本庁で行われた就任式で椎副市長は、「一日でも早くえびののを知り、えびのの発展のためにがんばりたいと思います」と決意を述べました。椎副市長は、昭和 57 年に宮崎県庁に入庁。これまで、観光リゾート課主幹や商工振興課副参事補、スポーツ振興課課長補佐などを歴任しています。





①新入団員を代表して宣誓を行った絵柳公平さん②隊員が身に着けるヘルメットとジャンパー③真っ赤なボディーのバイク④入退団式の行進を先導するバイク隊⑤退団者を代表して一二三宮子さんに退団者記念品が贈られました



えびの市消防団防災バイク隊

RED HAWK

レッドホーク



えびの市消防団防災バイク隊
大門哲也 隊長

機動力を生かして
正確で迅速な情報伝達を

interview

今回結成されたバイク隊は、災害時における被害状況・安全確認などの情報収集、応急処置や医薬品等の物資運搬、行方不明者捜索、その他多方面で活動していく予定です。バイク隊の長所は何とんでも機動力だと思います。この機動力を十分生かして、災害時などに、正確な情報を素早く本部に伝えていきたいですね。そのためにも、自衛隊や警察の協力を得ながら、日ごろの訓練に励んでいきたいと思っています。

免許以上の取得者10人が隊員となりました。
RED HAWK(レッドホーク)は、防災バイク隊の愛称です。これも消防団員から募集し、決定したものです。RED HAWKとは「赤い鷹」という意味。「赤い」は消防団のシンボル色を指し、「鷹」は鷹のように鋭く目的となる標的等をすばやく発見できるようにとの願いを込めて名付けられました。
今後RED HAWKでは、自衛隊等との訓練を実施し、いつでも出動できる体制づくりを進めます。

4月4日、えびの市消防団防災バイク隊「レッドホーク」が誕生しました。これは、バイクの機動力を生かして、災害時等における市内各地域の被害状況および安全確認等の情報を収集・活用し、市民の生命、身体および財産を保護するため、また、消防団の活性化と普及啓発のために設置されたものです。
隊員は、えびの市消防団員の中から公募。自動二輪中型

防災バイク隊が誕生

また、32人の方々が消防団を退団。退団者に対して、村岡隆明市長や遠目塚光治団長から労をねぎらうあいさつがありました。退団者の皆さん、長年本当にお疲れ様でした。

平成22年度えびの市消防団入退団式が、4月4日、永山河川敷で行われました。今年度は新たに32人が消防団に入団。新入団員を代表して、第2分団第2部に入部した絵柳公平さんが「良心に従って、忠実に消防の職務を遂行することを誓います」と宣誓を行いました。

新たに32人が消防団員に

01

2年に1回は受診を 乳がん集団検診のお知らせ



乳がん集団検診が行われる検診バス。

日本では、乳がんにかかる女性は年々増えており、20人に1人が乳がんにかかっています(毎年4万人の女性がかかる)と推定されています。また、亡くなる方もここ50年間で7倍近く増えており、毎年、全国で1万人以上、宮崎県内で約1000人の方が乳がんで亡くなっています。

人が治ることから、「治りやすいがん」でもあります。乳がんで、あなたや家族が悲しい思いをしないよう、2年に1回は乳がん検診を受けましょう。今年度は、次の日程で乳がん集団検診を実施します。

◎対象 40歳以上の方で、平成22年4月1日～平成23年3月31日の間に偶数歳(40歳、42歳...)になる方
◎検査内容 超音波検査、マンモグラフィ
◎自己負担金 2500円
◎申込方法 2月下旬に郵送した検診申込書(世帯に1部郵送)で申し込むか、市健康保険課市民健康係に電話で申し込んでください。受診日1週間位前に実施通知書と問診票を送付します。

■お問い合わせ先
市健康保険課市民健康係 (内線 275・284)

02

西諸の地域医療を守るために 夜間急病診療電話案内を開始



皆さんで地域医療と救急医療を守りましょう。

平成22年4月1日から、西諸地区の地域住民の不安を解消し、救急告示病院への救急患者の集中を防ぐために、西諸医師会の全面的な協力により、電話案内が開設されました。これは、医師会の医師が当番体制で診療にあたり、その診療場所を電話で案内するものです。

◎電話受付時間 平日の午後7時～午後10時 ※上記時間外は救急告示病院等にお電話ください。
◎電話番号 0984-23-8212 (直通)

◎利用上の注意
①案内できるのは、当日の当番医療機関のみとなります。
②日によって、もしくは対象者の年齢によっては、案内できる当番医療機関がないこと
③応急処置のため、1日分の処方となりますのでご注意ください。
④1回線のみ対応です。話し中の場合は、少し時間をおいてからかけ直してください。
⑤明らかに緊急の場合は、119番をご利用ください。
⑥可能な限り時間内の受診を心がけてください。

■お問い合わせ先
市健康保険課市民健康係 (内線 283)

03

健康づくりに役立てて 国保人間ドックを実施します

市では、国民健康保険加入者を対象に、健康診査(人間ドック)を実施します。受診を希望される方は、市健康保険課医療保険係の窓口で申し込んでください。

◎対象 受診日に35歳～74歳の国民健康保険加入者(ただし、国民健康保険税を納期までに全額納付されている方)
◎申込受付期間 平成22年6月1日(火)～平成22年12月28日(火)
◎受診期間 平成22年6月1日(火)～平成23年1月31日(月)
◎持参する物 認め印(世帯主のもの)、国民健康保険被保険者証、特定健診受診券(40歳以上の方のみ5月下旬に送付します)

◎自己負担費用 5299円(受診費用30299円 - 補助額25000円) ※人間ドック受診の際にお支払いください。
◎検診項目 胸部レントゲン、胃透視または胃カメラ、便潜血、心電図、貧血検査、特定健診と同じ検査項目
◎人間ドックを希望する際の注意事項
・人数に限りがあります(20人)ので、先着順とさせていただきます。
・特定健康診査の対象者(40歳以上)の方は、特定健康診査か人間ドックのどちらか一方の受診となります。
・40歳以上の方は、申込みの際、特定健診受診券(黄色の用紙です)を回収させていただきます。

【受診できる医療機関】

医療機関名	電話番号
えびの市立病院	0984-33-1023
えびのセントロクリニック	0984-33-5777
えびの第一クリニック	0984-33-0148
若葉クリニック	0984-33-3838
前田医院	0984-35-1151
京町共立病院	0984-37-1011
渡辺医院	0984-37-1109
京町温泉クリニック	0984-37-2233

* 健診申込み後、必ず医療機関に事前予約をお願いします。

■お問い合わせ先
市健康保険課医療保険係 (内線 273)

04

えびの市小・中学校教職員新任式 25人の先生がえびの市へ



新任教職員を代表してあいさつする加久藤中学校の片平真校長。

平成22年度えびの市小・中学校教職員新任式が、4月9日、市文化センターで行われました。今年度、新たにえびの市の教職員となったのは、25人(校長3人、教頭2人、教諭18人、養護教諭1人、事務主査1人)の方々です。

新任式では、まず、亀澤幸教育委員長が、「ようこそえびの市に来られました。えびの市では、学力の向上・生徒指導など、独自の取り組みを行っています。9年間または12年間、子どもたちを育てていく中で課題もたくさんあると思いますが、がっちりチームを組んでがんばっていきましょ」と歓迎のあいさつ。

新規採用教職員として、飯野小学校に配属となった平川千穂教諭は、「えびのはお米がおいしいと聞いているので、給食が楽しみです。えびの市民として、少しでもえびの市発展に貢献したいです」と、また、飯野中学校に配属となった桑畑新也さんは、「えびのは寒いという印象です。生徒たちに負けないように、元気いっぱい大きな声でがんばっていききたいです」と、意気込みを話していました。

■お問い合わせ先
市教育委員会学校教育課 (内線 411・413)



えびの
四季彩色
Seasons Color of Ebino

国の天然記念物
ノカイドウ

写真／えびの高原に自生するノカイドウ。4月下旬から5月上旬が見ごろ。



えびの産の食材を使ったおいしい料理

◎今月一品
(ゴマ辛しあえ)

し し び

- 【材料（4人分）】
 ホウレンソウ・・・200g
 ニンジン・・・40g
 切り干し大根・・・15g
 白ゴマ・・・小さじ2
 砂糖・・・大さじ1
 濃口醤油・・・大さじ2
 練り辛し・・・少々
 だし汁・・・大さじ1

- 【作り方】
 ①ホウレンソウはゆでて4cmの長さに切る。
 ②ニンジンは千切りにしてさっとゆでる。
 ③切り干し大根はぬるま湯で戻し、食べやすい大きさに切る。
 ④白ゴマをすって砂糖・濃口醤油・練り辛し・だし汁を合わせる。
 ⑤①②③を④であえる。



えびの市食生活改善推進員
三森ヨシ子さん

recipe

今月紹介するのは、えびの産の野菜をたっぷり使った「ゴマ辛しあえ」です。
 ゴマは、昔から漢方薬としても用いられてきました。種皮の色によって、白ゴマ、黒ゴマ、茶ゴマに分けられますが、栄養的にはほとんど差がありません。あまり培地を選ばず、手間もそれほどかける必要がないため、気軽に栽培することができます。
 ゴマには、カルシウム、マグネシウム、鉄、リン、亜鉛等のミネラルやタンパク質、食物繊維を豊富に含んでいます。

ゴマは皮がかたく、そのままでは体の中を通り過ぎて栄養がうまく吸収されないのです。炒つてよくすりつぶしたり、指の腹でひねりつぶしたりして、消化しやすい形にすると、吸収もよくなります。
 辛しがピリツときいたゴマ辛しあえ。今晚のおかずはいかがですか。



「えびのうまごもの」



子牛の世話をしている中村さん。

中村 友哉さん

高齢化が進む中若い力で地域を盛り上げていきたい

Tomoya Nakamura
なかむら・ともや / 23歳 / 上大河平区
／畜産業 / 農業大学卒業後、両親とともに和牛繁殖を営む。趣味はバレーボールなどスポーツ全般と飲み方。

「畜産業に対して、理想を描いて帰ってきましたが、子牛の価格低迷など、現実とはとても厳しいものでした」と話すのは、両親とともに和牛繁殖を営む中村友哉さん（上大河平区）です。中村さんは、農業大学で1年間畜産を勉強し、実家の和牛繁殖経営という仕事について3年目を迎えます。「勉強して帰ってきたつもりですが、その土地のやり方があり、勉強したことが通用しないこともあります」と中村さん。そんな時に助けてくれるのが、両親や、同じ地区で畜産業に汗を流す若い仲間たち。

飲み会などを通して、仕事上での悩みや疑問に思うことなどをお互いに話し、情報交換を行っています。しかし、子牛が亡くなることもあり、「もしもの時に、自分にもっと知識や技術があったら助かったのかもしれないと、自分の未熟さを痛感させられます」と

中村さんは悲しい表情です。中村さんは、昨年からえびの市消防団第1分団第3部にも加入。夏には、同部主催で夏祭りを行うなど、地域活性化にも取り組んでいます。中村さんは「高齢化がさらに進むと思うので、若い自分たちが地域を引っ張っていくつもりでがんばっていききたいですね」と話します。

中村さんの夢は、和牛繁殖の経営規模拡大と、繁殖から肥育までの一貫経営の確立。仕事はもちろん、地域も盛り上げていくためにも、中村さんをはじめ、若い皆さんの活躍が期待されます。

りでがんばっていききたいですね」と話します。中村さんの夢は、和牛繁殖の経営規模拡大と、繁殖から肥育までの一貫経営の確立。仕事はもちろん、地域も盛り上げていくためにも、中村さんをはじめ、若い皆さんの活躍が期待されます。

がんばる！自治会

明るくて住みよい地域づくりを

(平成22年度社会教育指導員の紹介)



左から藤崎裕之さん、松元國治さん、阿部忠志さん、関田徳弘さん、河野秀明さん。

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。

市内65の自治公民館では、各公民館長を中心に、住民の創意と工夫により、地域の特性を生かしたさまざまな活動が行われています。また、地域住民が協力し、郷土芸能の伝承や年中行事・世代間交流に努めたり、学習会を行ったりして、住民の生活・文化の向上を図っています。少子・高齢化や地域のつな

ぎてはいますが、自治公民館活動は、地域の活性化や地域づくり、人づくりに欠かせない重要な役割を担っています。皆さんも、公民館活動に積極的に参加して、地域を盛り立てていきましょう。

活動に関する相談は社会教育指導員まで

教育委員会には、各自治公民館と連携をとりながら、公民館活動の情報提供や指導を行う公民館担当の社会教育指導員と、家庭教育学級や家庭教育に関する相談窓口を配置されています。何でもお気軽にご相談ください。

- ◎飯野地区 阿部忠志さん ☎0984-33-0030
- ◎上江地区 関田徳弘さん ☎0984-33-5799
- ◎加久藤地区 松元國治さん ☎0984-35-2268
- ◎真幸地区 藤崎裕之さん ☎0984-37-3221
- ◎家庭教育相談窓口 河野秀明さん ☎0984-35-2268

ジオパーク発掘調査隊 その7

今回は、小林市の「三之宮峽」と、北きりしま地域のすばらしさを広く発信し、地域を盛り上げようと取り組む「北きりしま田舎物語推進協議会」の活動を紹介します。

■三之宮峽

浜ノ瀬川上流に見られる三之宮峽は、今から約34万年前の加久藤カルデラ（現在の盆地）の噴火により流れ出た火砕流が、自らの熱と圧力で溶け固まった溶結凝灰岩が川に浸食されてできたものです。1.2kmの遊歩道には、手掘りのトンネルが11本あり、溪流のせせらぎや自然の造形美を楽しめます。「全国遊歩百選」や「残したい日本の音風景百選」などに指定された檜の轟をはじめ、河童洞、屏風岩、千畳岩などとともに希少植物の宝庫でもあり、見どころが満載です。

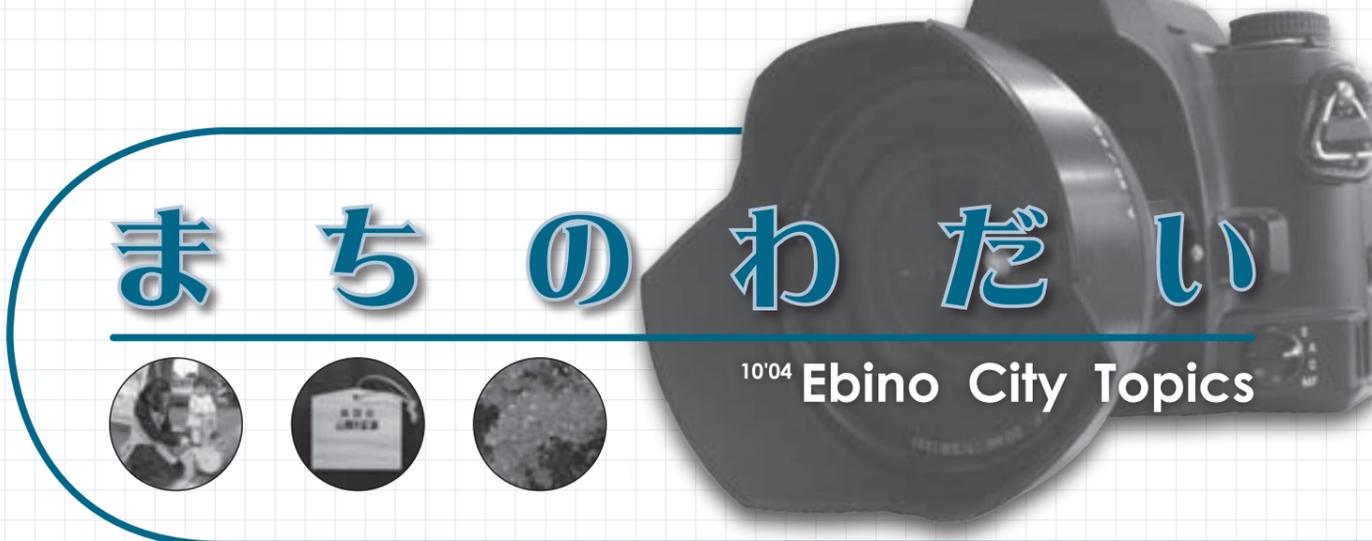
■北きりしま田舎物語推進協議会

この会は、グリーンツーリズムや体験型観光を通じて、地域の魅力を発信しようとして設立されました。農業や田舎料理を体験する農家民泊、三之宮峽や湧水地、霧島の自然などを回るガイドツアーに、霧島山系トレッキングや登山などのプログラムを提供します。県内外から訪れる人との体験を通してふれあいは、心と心の交流を生み、地域活性化の原動力になっています。

■お問い合わせ先 小林市総合政策課 ☎0984-23-0456、北きりしま田舎物語推進協議会（小林市産業振興課内） ☎0984-23-1174



①変化に富んだ罅穴群、奇石の渓谷「三之宮峽」。
②ガイドによる「三之宮峽」のトレッキング。



まちのわだい

10'04 Ebino City Topics

桜の中でイベント楽しむ

八幡丘さくらフェスタが、3月28日、八幡丘公園で行われました。八幡丘公園さくらフェスタ実行委員会が、八幡丘公園のさくらを守っていくと行ったもので、約600人が訪れました。

同フェスタでは、焼肉カーニバルや子どもたちに大声で夢を叫んでもらいお菓子をプレゼントするなど、多くの催し物が行われました。同実行委員長の東良一郎さん(南原田区)は、「雨が降ったものの昨年より参加者も多く、年々にぎやかになればと思います。少しずつ八幡丘公園をきれいにしていきたいです」と話していました。



桜の中で竹馬作りを体験する参加者。

音楽の楽しさを伝える

下島内区出身の永田名奈子さんが、3月22日から平成24年3月21日までの2年間、青年海外協力隊としてモンゴルで活動しています。永田さんのモンゴルでの業務は音楽の授業です。

出発前、村岡市長を訪れた永田さんは、「今までやってきたことを生かして、子どもたちに音楽の楽しさを教えてきます」と意気込みを話していました。村岡市長も「えびののためにがんばってください。市としても協力できることがあれば協力します」と、激励しました。永田さんの活躍が期待されます。



市長に意気込みを語る永田さん(左)。

地域・交通安全に向けて

「えびの市春の地域安全・交通安全運動」決起集会が、4月2日、市文化センターで行われました。これは、犯罪や交通事故のない安心して生活できるえびの市を目指そうと行われたもので、35団体約320人が参加しました。

集会では、今春、小学校や中学校に入学した児童生徒の代表に、えびのライオンズクラブやえびの市危険物安全協会などから、防犯ブザーやランドセルカバー、下じきや夜間反射タスキなどが贈られました。また、参加者全員でがんばろう三唱を行い、地域安全・交通安全への決意を固めました。



がんばろう三唱で決意を固める参加者。

子どもの健全育成に

西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部が、3月25日、えびの市スポーツ少年団に助成金の贈呈式を行いました。これは、同社の社会貢献活動の一貫として贈ったものです。

贈呈式で同倶楽部九州地域会の田島克宣副会長は「えびの子どものために、ぜひ有意義に活用してください」と、同少年団の北園一正本部長に目録を贈りました。北園本部長は、「ありがとうございます。スポーツ技術の向上はもちろん、子どもの健全育成にも活用させていただきます」と謝辞を述べました。



北園本部長に目録を贈る田島副会長(右)。

シーズン中の安全を祈願

4月11日、えびの高原キャンプ村で、山開きが行われました。あいにくの天候にもかかわらず、県内外から約280人の登山愛好家などが集まりました。

山開きでは、神事でシーズン中の登山客の安全を祈願。参加者には、白鳥温泉などで使える入浴券やコカ・コーラ商品がプレゼントされました。参加した梶原厚子さん(宮崎市)は、「体力向上のため、年に数回韓国岳を登ります。きついなところもありますが、頂上に着いた時は最高です。地元の方が作られる手作り弁当も毎年楽しみにしています」と話していました。



神事でシーズン中の安全を祈る参加者。

国際感覚を身につけて

小学生イングリッシュキャンプが、3月28日、29日の2日間、国際交流センターなどで行われました。外国青年や参加する仲間と一緒に、自然に触れながら楽しく国際交流することで、簡単な英語を習得するとともに、国際感覚を身につけてもらおうと行われたものです。キャンプには市内の小學生13人が参加しました。

2日間、児童たちは、外国青年と、えびの高原を散策したりゲームを楽しんだりしました。参加した児童は、「夜が修学旅行みたいで楽しかったです。英語も少し覚えられました」と話していました。



外国青年と一緒にえびの高原を散策する児童たち。

大河平つつじが満開

上大河平地区の大河平つつじが、例年より1週間ほど早い4月13日ごろに満開になりました。花の量は若干少なめでしたが、県内外から、多いときには1日約50人の見物客でにぎわいました。

今年度、市の予算に大河平つつじの樹勢を回復させるための保護工事の予算が計上され、大河平つつじの保護が行われます。上大河平区の木下幸夫区長は、「大河平小学校周囲に500年近く咲いている大河平つつじは、地区のシンボリックな樹木です。保護工事が行われるのは大変ありがたいですね」と話していました。



満開を迎えた大河平つつじ。

information

お知らせ コーナー

・お知らせ・

市役所だよりから 広報えびのお知らせ版へ

これまで、区長会を通じて回覧してきた「えびの市役所だより」。5月6日発行分から、「広報えびのお知らせ版（全戸配布）」に変わります。

これまでの回覧から全戸配布への変更で、行政情報をより確実に市民の皆さんにお届けできるようになります。

「お知らせ版」はA4判で1色刷り、月8ページ程度を予定しています。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

☎ 市企画課情報係
(内線 451)

安全な農作業の実施を 心がけましょう

近年、農業従事者の高齢化等に伴い、農作業事故が多発しています。毎年、農作業事故により400人前後の方が亡くなっています。

気象条件やほ場条件等により、作業が順調に進まないという理由が生じ、結果的に事故の要因となる可能性があることから、余裕を持って無理のない作業計画を立てましょう。

また、農作業を行う方は、日ごろから安全意識を持つことが大切です。その日の気象条件や体調を考慮して、無理のない作業の実施、農業用機械・器具の日常点検、適正な農業機械操作等を行い、安全な作業の実施を

心がけましょう。

農作業事故が発生した場合に備えて、労災保険に加入しておくことも必要です。

☎ 市畜産農林課農産園芸係
(内線 223・226)

自動車税は納期限内に 納めましょう

自動車税は、4月1日現在、宮崎運輸局に登録されている自動車の所有者または使用者に課税されます。

金融機関または県税・総務事務所のほか、各コンビニエンスストア、インターネット利用によるクレジットカードでも自動車税を納めることができます(詳しいことは納税通知書をご覧ください)。

自動車をお持ちの方は、5月31日(月)までに、自動車税を納めてください。

もし、5月中旬までに納税通知書が届かないときは、小林県税・総務事務所までご連絡ください。

なお、障害者のために使用する自動車について、一定の要件に該当する場合は、5月31日までに申請すると、自動車税の一定額が減免されます。

☎ 小林県税・総務事務所
0984 - 23 - 3194

宮崎県ふるさと就職説明会 を開催します

人材を求める県内企業と、U・Iターン就職希望者、新規学卒予定者の出会いの場として、県外2会場で下記のとおり就職説明会を開催します。

◎福岡会場＝平成22年5月8日(土)に天神ビルにて

◎大阪会場＝平成22年5月22日(土)に大阪駅前第3ビルにて

【開催時間】午後1時～午後4時(受付＝正午～)

【対象】U・Iターン就職希望者、新規学卒予定者

【参加企業】県内で就業する人材を募集する企業(詳しい参加企業は、宮崎県庁ホームページで確認してください。ホームページは、「宮崎県就職説明会」で検索できます)

【参加料】無料

☎ 宮崎県地域雇用対策室

0985 - 26 - 7109

住宅リフォームを考えている 皆さんへ

国土交通省では、住宅リフォームによる消費者被害の防止を図るために、新たな取り組みを始めました。

■リフォーム瑕疵保険

◎リフォーム工事に欠陥が見つかった場合の修理費用をまかなうための保険がご利用いただけます。工事業者が倒産した場合でも保険金を受け取ることができます。◎保険は、国土交通大臣から指定された住宅専門の保険会社(保険法人)が、建築士による現場検証を行った上で引き受けます。◎加入手続きは工事業者が行いますので、保険を希望する場合は、契約前に工事業者に確認してください。

◎リフォーム瑕疵保険を取り扱う保険法人(平成22年3月19日現在)＝(株)日本住宅保証検査機構 [☎ 03 - 3635 - 3655]

■リフォーム見積相談制度

(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターで、考えているリフォームや、工事業者から提示された見積りに関する相談に無料で応じています。

■弁護士や建築士による無料専用相談

最寄りの弁護士会で、弁護士と建築士が対面の相談に無料で応じます。まずは、(財)住宅

リフォーム・紛争処理支援センターにご相談ください。※住宅性能評価を受けた住宅または住宅瑕疵担保責任保険に加入している住宅であれば、リフォームに関することに限らず、無料で専門家による相談が利用できます。

☎ (財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

03 - 3261 - 4568

・募 集・

元気はつらつクラブの 参加者を募集します

市では、65歳以上の高齢者の方を対象にした運動機能向上教室の参加者を募集しています。これは、体力や身体機能の低下を防止し、いつまでも元気で自立した生活を送っていただくためのものです。ぜひ、ご参加ください。

【対象】65歳以上の方で、介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない方。また、送迎がないため、真幸地区体育館まで

自分で来ることのできる方。ただし、平成20年度、平成21年度の教室に参加された方は参加できません。全14回の教室に継続して参加できることが条件となります。

【実施期間・実施時間】平成22年6月1日(火)～平成22年8月31日(火)の毎週火曜日。時間は午前10時から午前11時30分まで

【会場】真幸地区体育館
【内容】体力測定、ストレッチ、集団体操など

【費用】参加1回につき300円
【準備する物】運動着、運動靴、タオルなど

【申込方法】市長寿介護課地域包括支援センターに電話で申し込んでください。

【申込期限】平成22年5月14日(金)

市長寿介護課地域包括支援センター(内線278)

朗読(音声訳)講習の 受講生を募集します

宮崎県立視覚障害者センター

では、小林地区で、朗読(音声訳)講習会を開講します。この講習は、視覚障害者が豊かな生活を送れるように、広報紙や議会だよりなど、各種情報を正確に分かりやすく伝えるための講習会です。

◎前期

【開催日時】平成22年5月～8月の第2、第4土曜日(午後1時30分～午後3時30分)
※開講式のみ、5月15日(土)です。

【講師】音声訳指導者

◎後期

【開催日時】平成22年9月～平成23年3月の第2、第4土曜日(午後1時30分～午後3時30分)

【講師】堀之内悦子、水間節子
【会場】前期・後期とも小林市社会福祉センター(小林市立図書館横)

【申込方法】下記に電話で申し込んでください。

☎ 小林市社会福祉センター
0984 - 23 - 3466

119 だより

職員の異動のお知らせ

4月1日付けで下記のとおり職員の異動がありました。
【着任】～よろしくお願ひします～ 赤川吉郎署長(えびの市出身)、宮窪力男(小林市出身)、野間和則(えびの市出身)、坂下勇(えびの市出身)、長崎孝一(えびの市出身)、永迫誠二(旧須木村出身)、今村栄(高原町出身)、大迫信一郎(小林市出身)

【離任】～お世話になりました～ 内之倉薫(退職)、小久保重義(退職)、中園豊(須木分遣所長)、前原幸太郎(野尻分遣所長)、富永立身(須木分遣所へ)、春田時則(須木分遣所へ)、藤嶋健(高原分遣所へ)、若松洋平(中央消防署へ)、早田直生(中央消防署へ)

2010年度全国統一防火標語

『消したかな』あなたを守る合言葉

3月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	3件
	救急	54件	年計	167件

■えびの消防署 ☎ 0984 - 33 - 6119

110 だより

自転車利用者の交通安全について

全国的に、自転車の関与する事故が増加しています。自転車を利用する場合は、次の「自転車安全利用5則」をしっかりと守りましょう。

【自転車安全利用5則】

- ①自転車は車道が原則、歩道は例外②車道は、左側を通行③歩道は歩行者が優先でm車道寄りを徐行④安全ルールを守る＝◎飲酒運転、二人乗り、並進の禁止◎夜間はライトを点灯◎交差点での信号の遵守、一時停止と安全確認◎携帯電話、ヘッドホンを使用しながらの運転禁止
- ⑤子どもはヘルメット着用

自転車でも「てげてげ運転追放運動」で、えびの市から自転車の関与する事故を防止しましょう。

3月の交通事故 発生状況	人身	8件	年計	25件
	物件	32件	年計	81件

■えびの警察署 ☎ 0984 - 33 - 0110

心の一首一句

短歌

雄大な自然の森は湯けむりに

白く包まる白鳥の山

西上江区 山本ハヤ子

春たけなわ山の朝明けは、鳥の声に始まり、地底より湧き出ずる湯の里白鳥はある。このすばらしい大自然の中に生きる命は、それを支えている見えない命がある。そういう無量の力に感謝の心をこめて作者は詠まれたのである。素直ですばらしいうたである。
(評 竹下妙子)

俳句

九十路越え萌ゆる若草蛇を見ず

水流区 三輪景晴

世間を見渡すと、土手際なども清らかな若草が萌え、流れは、清けつで澄み、底まで透き通っているにもかかわらず、生き物が見えませんが、今年になってから、蛇一匹も見当たりません。私の勘違いだろうかとも思いますが、蛇はこれから先だと言う人もいます。
(自註)

詩

ふるさと便

京町区 藤井れい子

堤防の陽だまりに
小さなつくしの子
今年初めて春を見つけた日
待ち焦がれていた感動の一瞬
誰彼なしに伝えたい
春を告げる愛らしい姿
その裏で厳しい
冬を耐え忍ぶ強さは
どこか幼い頃の友に似ている
久しぶりに春色の便箋に
あの頃のおせいでも添えて
北で暮らす友へふるさとの春を届けます

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますが、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



ルポ 競争・格差社会を生きる

『屈せざる魂』

外前田孝 / 著
(鉱脈社)

宮崎日日新聞紙上で連載発表したルポルタージュを単行本化したこの一冊。記者であった著者が、本書に登場したさまざまな人物たちの取材を通し生の声を聞き、自分自身も読者も、生きる勇気と励ましをもらえます。障害や難病、連れ合いの死などの逆境を克服し、弱さを強さに変えた人々。そこにあったのは、家族や友人、仲間といった人の絆、芸術、文化、スポーツ、地域愛でした。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

■4月1日付けの人事異動で、観光商工課に異動となりました。7年間、取材を通じて多くの方に出会うことができました。この7年間は私の財産です。新担当とともに、最後の号(今月号)を終えて、今はほっとした気持ちですが、どこか寂しい気持ちもあります。そして、市民の皆さんをはじめ、上司や同僚、妻の支えに感謝の気持ちでいっぱいです。皆さん、今まで本当にありがとうございました。(楠元)
■新しく広報担当になりました。初めてなことばかりで戸惑っていますが、一生懸命がんばっていこうと思いますのでよろしくお願いします。(川野)

◎えびの市の人口

男性 / 10,040人 (-132人) 転入 / 154人
女性 / 11,401人 (-101人) 転出 / 379人
合計 / 21,441人 (-233人) 出生 / 22人

◎えびの市の世帯数

9,041世帯 (-117世帯) 死亡 / 30人

(平成22年4月1日現在)

今月の納税

固定資産税 第1期

4月30日までに納めましょう。



いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

認知症予防の考え方

■萩原保健師 (長寿介護課)

◆発症のリスク(危険性)を少なくする

認知症は、脳の神経細胞ネットワークが、何らかの原因で壊れてしまうことで生じ、加齢も大きな要因の一つです。

認知症は防ぎようがないと思われがちですが、認知症の約2割を占める脳血管性認知症の予防には、高血圧や高脂血症、肥満などの対策がとて有効です。また、認知症の半数以上を占めるアルツハイマー病でも、運動をはじめとする生活習慣病対策が発症のリスクを減らすことが示されています。特に楽しく運動することは、脳のアルツハイマー病変を弱めたり、記憶を司る海馬の働きを高めたりすることが示されています。認知症の発症を完全に防ぐことは困難ですが、生活習慣に気を配ることで、発症や進行を遅らせることが期待されています。

◆脳の活性化を図る

脳の活性化にはいろいろな方法がありますが、大切なことは、楽しく行うことです。仲間と一緒に昔の遊びや仕事などを語る回想法、音読や計算などの学習、音楽や絵画などの趣味活動を通じ、仲間と楽しく過ごす中で、前向きに生きる意欲がわいてきます。

しかし、本人が嫌がることは強いストレスや自信喪失につながるおそれがあり、逆効果になることもあります。強要はよくありません。

仲間と楽しい時間を共有することによって、認知症の病状悪化、「廃用性認知機能低下」について一定の効果が期待されます。

市でも高齢者のための教室開催や、相談・訪問に取り組んでいます。廃用防止の視点から、積極的に活用してほしいと思います。

「私と男女共同参画」

むかし、むかし、私は「良妻賢母」になって、夫をたて、子どもを生み育て、家庭をつくりたいと思っていました。月日が経ち、「おなごは、オナゴーという業をかるちよるからな」、「よかと、あたしは養つてもろちよつて文句は言えんと・・・」とつぶやいた年配の方々や、「男じゃついで」と自死を選んだ人々など・・・。いろんな人とかかわっていくうちに、「何かが違う。この胸の思いのざらつきは何?」と感じ始めていました。



佐藤以津子さん

2005年に、えびの市男女共同参画セミナー講座でたもつゆかり先生の講義を受講して、何か目の前が明るくなり、何かが見えてきました。そして、男女共同参画について、「もっともっと知りたい、正しく理解したい」と、受講生たちで、勉強グループ「きさらぎ

男女共同参画だより

会」をつくり、今日まで続けています。

人にはいろいろな生き方があります。一度しかない人生を「あぁ充実した生き方ができたー。幸せだったー」と幕を閉じられたらどんなにいいでしょう。

隣にいる人とお互い愛し合えたら、地域で暮らす人々と仲良く暮らしていけたら、職場で自分らしく働けたら、どんなに素敵なことなのでしょう。

一人一人が大切にされる社会、それが男女共同参画だと知り、そんな社会づくりに、私ができることは何なのかを学びたくて、県内外のセミナーやフォーラムに参加、参画しています。そのような中、「地域の中で一番優しい人になってください」と、たもつ先生が話され、ボランティアなど私にもできそうなことが、一つ見つかりました。

私にできることから、男女共同参画を推進していきたいと思っています。

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

138

重要文化財級の太刀たち



島内地区の古墳分布域から出土した太刀の龍文（写真上）と太刀の全体（写真下）。

平成二〇年二月、えびの市大字島内の古墳分布域において、送電線鉄塔建替に伴う発掘調査を実施したところ、一三基の地下式横穴墓が検出されました。その地下式横穴墓には、鉄製の冑かぶとや刀剣類、馬具のほか銅製の鈴（市内初出土）といった貴重な品々が副葬されていました。

平成二二年度に、出土遺物の保存処理事業を委託した中で、一一四号墓出土太刀に、龍などの象嵌ぞうがん（タガネで掘った溝に銀綿を埋め込んだもの）が施されていることが、X線撮影によって判明しました。そこで、象嵌を覆っている部分の木製鞘さやを除去した状態で、公開展示できるようにしました。

太刀は、全長九八・二cm、刀部の長さ七八cmで、鞘口には幅三・五cmの銀板が巻かれ、長さ八〇九cmの龍文と太陽もしくは星（直径六〇一〇mmの二重円の外側に外向きの半円が八個連孤する）が両面に銀で象嵌されています。この太刀は、六世紀前半のものであり、類例としては、新沢千塚古墳群（奈良県橿原市）三二七号出土太刀があるのみです。両者の龍文は、極めて類似していますが、島内出土太刀の方が遺存状態が良く、ひと回り大きいです。

龍は架空の動物なので、顔の表情があいまいで、表裏の表現も若干違いますが、六世紀前半の太刀としては、全国的にも第一級の資料です。

この遺物は、えびの市歴史民俗資料館で保管・展示していますので、ぜひご覧ください。

（文）市歴史民俗資料館

広報えびの4月号
2010.4.20 / No.522

発行／えびの市役所 編集／企画課情報係
〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292番地
TEL0984-35-1111 FAX0984-35-0401

（ホームページアドレス）<http://www.city.ebino.lg.jp/>
（携帯サイトアドレス）<http://www.city.ebino.lg.jp/mobile/>
（メールアドレス）info@city.ebino.lg.jp

△ 非核平和のまちえびの市